

# Press Release



2018年3月22日  
トランスコスモス株式会社

## 電通デジタル・電通デジタルドライブ・トランスコスモス LINE 向けマーケティング支援サービスを提供開始

### 「Salesforce Marketing Cloud」×「LINE」連携のサービス体制を強化

トランスコスモス株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長兼 COO:奥田 昌孝)は、株式会社電通デジタル(本社:東京都港区、代表取締役 CEO:山口 修治)、株式会社電通デジタルドライブ(本社:東京都港区、代表取締役社長:齊藤 寛樹)と共同で、セールスフォース・ドットコム( Salesforce )の「Salesforce Marketing Cloud」を活用した、コミュニケーションアプリ「LINE」( <https://line.me/ja/> ) における企業のマーケティング支援サービスを開発し、戦略策定から配信運用まで一気通貫したメニューの提供を開始します。

DENTSU  
DIGITAL



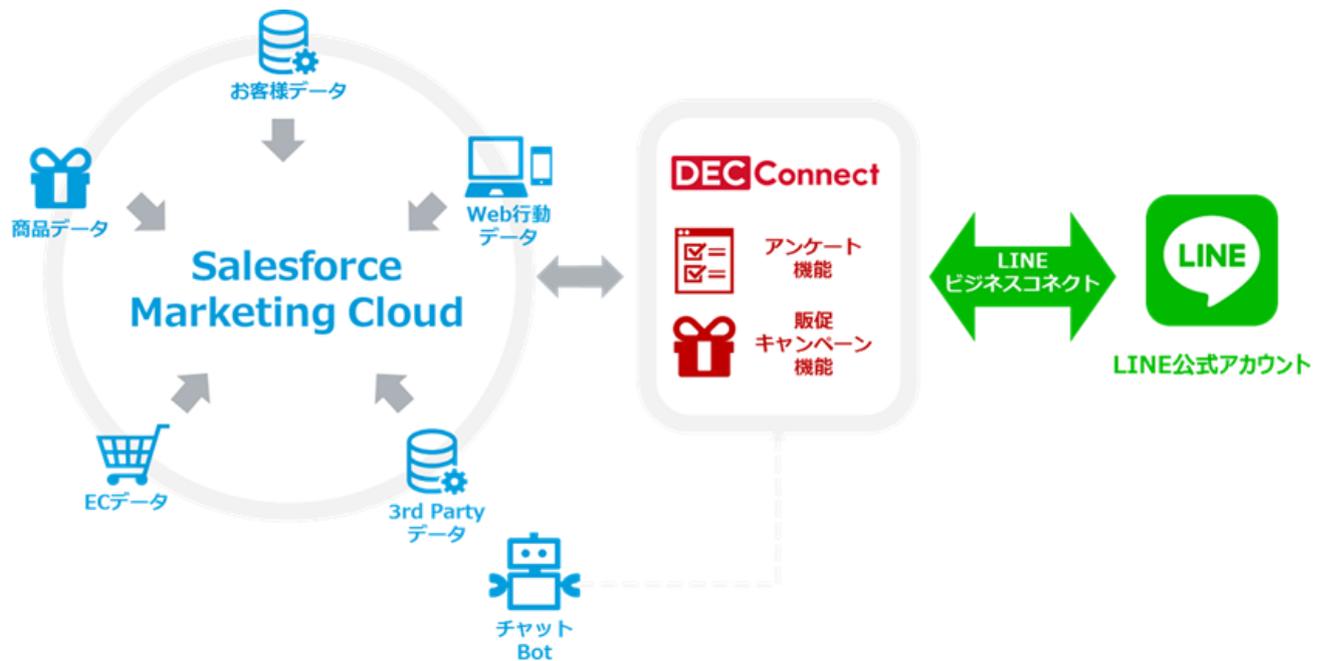
近年、多くの企業が LINE をコミュニケーション・チャンネルとして取り入れており、LINE は One to One や双方向のコミュニケーションを実現するのに欠かせない存在となりつつあります。同時に LINE を活用したマーケティングの戦略立案や運用支援のニーズも高まっており、顧客企業を十分にサポートできる体制やサービス設計が求められるようになりました。

そこで、電通デジタル、電通デジタルドライブ、トランスコスモスの 3 社は協業し、電通デジタルが多くの導入実績を持つ「Salesforce Marketing Cloud」をプラットフォームとした「LINE ビジネスコネク」を活用したマーケティング支援サービスを開発しました。両ソリューションを連携することで、LINE でのユーザーの嗜好・Web 上の行動をトリガーとしたセグメント配信、メールやアプリ等の他チャンネルと組み合わせたマルチチャンネル配信、販促キャンペーン活用が可能になります。

さらに、トランスコスモスが独自開発した「DEC Connect(デック コネク)」を中継モジュールとして組み合わせることにより、「チャットボット」(自動応答機能)とも連携をし、チャットの会話情報をデータソースとした「Salesforce Marketing Cloud」による LINE 配信も展開可能になります。

電通デジタルはデジタルコミュニケーション設計の知見を活かし、トランスコスモスの LINE 運用実績、電通デジタルドライブが両社の知見を活用、運用の業務標準化によるサービスのパッケージ化を行うことで、業界別に最適化したメニューの提供を実現しました。各社の強みを活かして戦略策定から配信運用まで一気通貫したサービスを提供します。

## <連携イメージ図>



## <電通デジタルの会社概要>

社名 :株式会社電通デジタル  
所在地 :東京都港区東新橋一丁目8番1号  
代表者 :代表取締役CEO 山口 修治  
代表取締役社長COO 鈴木 禎久  
資本金 :4.4億円  
設立 :2016年7月1日  
事業内容 :デジタルマーケティングの全ての領域に対する、コンサルティング、開発・実装、運用・実行の提供

## <電通デジタルドライブの会社概要>

社名 :株式会社電通デジタルドライブ  
所在地 :東京都港区東新橋一丁目8番1号  
代表者 :代表取締役社長 齊藤 寛樹  
資本金 :5千万円  
設立 :2017年9月13日  
事業内容 :デジタルマーケティングツール業務のパターン開発、AI自動化ツールの開発等

## <トランスコスモスの会社概要>

社名 :トランスコスモス株式会社  
所在地 :東京都渋谷区渋谷三丁目25番18号  
代表者 :代表取締役社長兼COO 奥田 昌孝  
資本金 :290億6,596万円  
設立 :1985年6月18日  
事業内容 :コンタクトセンターサービス、デジタルマーケティングサービス、BPOサービス、ECワンストップサービス等